

投資運用業者の選択

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人資産運用業協会

<https://www.fromhc.com>

2026.09.01

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

職業倫理(プロフェッショナリズム)

運用会社においては、運用の技術的な巧拙や、運用の腕前の良し悪しの判断以前に、運用組織の中にプロフェッショナル倫理が貫徹していることが、最低限の要件となる。

ニッチなもの

ニッチな領域を構成するものは多様であり得る。信用、知名度(認知度)、流動性(売買可能性とその費用の小ささ)、構造(資産担保証券など)、内包オプション、リスク移転(債券という器に様々なリスクを移転してくる仕組み)などがあげられる。ニッチなものを他の投資家に先行して見出して投資することで、その投資対象がニッチではなくなっていく過程において大きなリターンを得ることができる。

運用手法の社会的必要性

運用会社が自己の運用手法として選択したものが、論理的に収益を生むべき、社会的必然性に裏打ちされたものであることが重要。金融の社会的機能に対して忠実であって、社会的な必要性に裏打ちされている限り、収益の確実性は高くなる。

投資運用業者の選択の際の判断要素・判断基準

人的要素・組織的要素・経済的要素が考えられます。人的要素とは、高度な専門性など、組織的要素とは、所有構造や意思決定構造など、経済的要素とは顧客基盤などがあげられる。

- ・ 人的要素としての運用会社の高度な専門性とはニッチな投資対象を見つけ出し、投資対象へ投資することを実現させる高度な知識を有していること。
- ・ 組織的要素とは、運用会社内の所有構造や意思決定構造がニッチな投資対象への投資決定を行えるような合理的な構造となっているかということ
- ・ 経済的要素とはニッチな投資対象への理解があり、そこに資金を投入してくれる顧客を持っているかどうかということ。

用語集もご参照ください <https://www.fromhc.com/glossary/>

運用会社の評価

戦略評価と運用会社の評価は別次元。戦略の魅力度が低下しても、運用会社としての一貫性があれば、運用会社の評価には影響しない。投資家の運用目的との適合性を起点に、戦略・投資機会の妥当性を確認し、目的に沿った運用戦略・体制が構築され、継続的に適切な運用が行われているかを評価する。

(戦略・運用組織の評価軸)

運用力の評価

- 投資の社会的意義
- 付加価値源泉の明確性
- リスクの特定と管理態勢の一貫性
- 専門性のある分野に特化しブレがないこと
- 目標リターンの妥当性

ファンド諸条件の評価

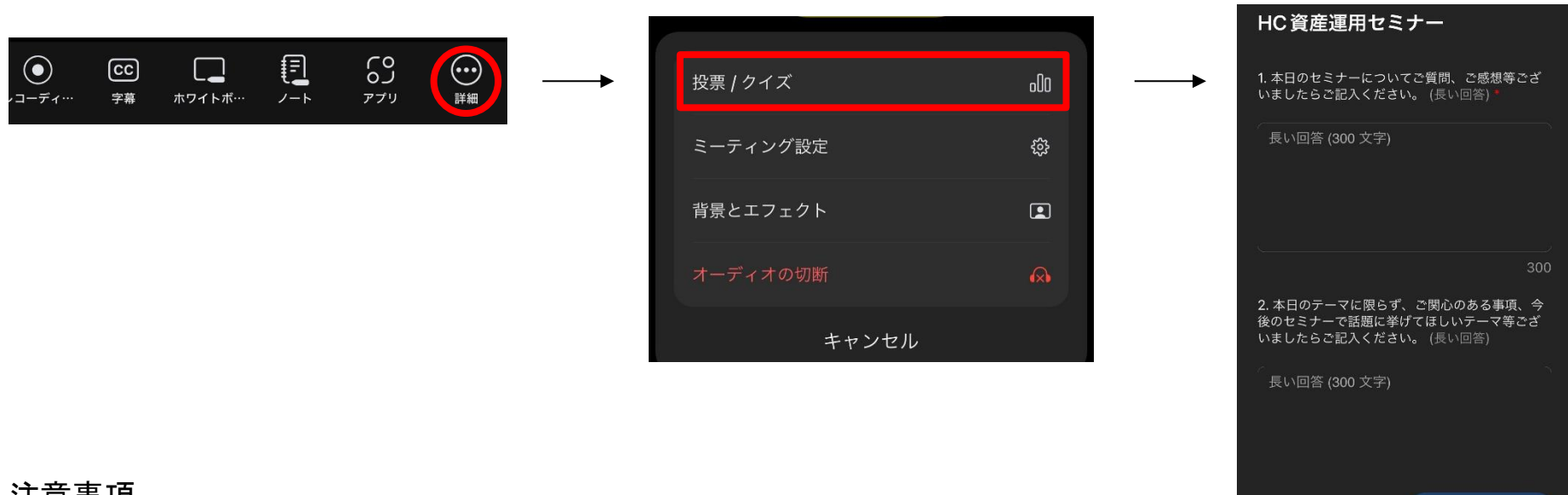
- 投資対象の流動性とファンドの流動性に矛盾はないか
- 運用報酬は期待する付加価値に対して妥当な水準か
- プライベート資産の場合、満期の定義、過去ファンドの回収実績、LP不利益条項の有無等

事業継続性の評価

- 運用チームのプロフェッショナルリズム
- 運用会社における当該運用チームの重要性
- 意思決定構造の妥当性
- 運用チームが所属する会社の経営方針
- 適正運用規模を維持しつつ付加価値追求を最重視しているか
- 顧客本位のサービスを提供し投資家からの信頼が高いか
- 人材育成を重視し事業承継を念頭に置いているか

講演後アンケート/注意事項

今後の運営に活かしたく、ご質問やご意見、ご感想、ご興味あるテーマなどを承っておりますので、ご自由にご意見をお寄せください。
回答方法: 各セミナー講演途上でZoom上で配信します。配信後は一度閉じた場合でも、以下の通り詳細から再表示できます。



注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。